



オンライン会社説明会 豊田通商グループ成長戦略

2020年3月17日
豊田通商株式会社
(証券コード 8015)

目次

I. 豊田通商について

II. 成長戦略

III. 投資銘柄としての3つのポイント

IV. 補足

目次

I. 豊田通商について

II. 成長戦略

III. 投資銘柄としての3つのポイント

IV. 補足

会社名 : 豊田通商株式会社
 証券コード : 8015 (東証・名証一部上場)
 業態 : 総合商社
 設立 : 1948年7月1日
 代表者 : 貸谷 伊知郎 (2018年4月に社長就任)
 資本金 : 649億3千6百万円
 主要株主 : トヨタ自動車(21.69%) を筆頭にトヨタグループで約35%
 連結従業員数 : 58,565名

主要連結財務数値 (19/3期)

当期利益

1,326億円

ネットDER※1

0.82倍

連結子会社数

国内**118**社

海外**619**社

自己資本

1兆1,958億円

自己資本比率

26.9%

格付

S&P

A+

Moody's

A3

R&I

A+

※1 ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本

現場に立て。
明日に役立て。

**私たち豊田通商は、これからも世界中の現場で、
現地の人々とともに挑戦し続けます。
私たちは現場に強い総合商社です。**

現場に立て。

わたしたち豊田通商は、
現場を大切にする商社

現場に立て。とは ～豊田通商のDNA～

トヨタグループ17社中唯一の商社として、「縁の下のか持ち」の役割を発揮



現場に立て。とは ～当社独自の自動車バリューチェーン～

自動車生産の各段階において、様々な現場を持ち幅広くビジネスを展開

テクノパーク



原材料調達



物流センター



CKD組立て



海外ディーラー



廃車リサイクル



開発・
生産準備

調達

物流・
組立加工

販売・
サービス

リサイクル

設備調達・
据付



生産部品調達



金属加工



タイヤ組付け



アクセサリ・
車載コンテンツ



金属リサイクル



現場に立て。とは



金属加工事業

～お客様のニーズに対応するため、ブランキング加工事業を世界12ヶ国で展開～

現場に立て。とは



アルミ溶湯事業

～自動車工場の横に工場を構え、回収したアルミスクラップを溶湯のまま供給～



クロマグロ完全養殖事業

～長崎五島列島と沖縄を拠点に、クロマグロ完全養殖事業を展開～

明日に役立て。

わたしたち豊田通商が目指すのは、
事業を通じた社会貢献

明日に役立て。とは ～企業理念の実現を目指して～

世界中の社会課題の解決をとおり、企業理念の実現を目指す

人・社会・地球との共存共栄を図り
**豊かな社会づくりに貢献する
価値創造企業を目指す。**



明日に役立て。とは ～当社におけるサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）～

企業理念を実現する上で優先的に取り組むべきサステナビリティ重要課題として、以下 6 つを特定

● 社会課題の解決と会社の成長を両立する最重要課題 ●



1 安全・快適な
モビリティ社会に貢献



2 低炭素社会移行に
貢献



3 循環型社会に
貢献



4 開発途上国と共に
社会課題を解決

● 会社の成長を支える土台となる最重要課題 ●

5 安全とコンプライアンスを遵守し
ステークホルダーから信頼される組織

6 社会に貢献する人づくりに貢献

明日に役立て。とは



1 安全・快適な
モビリティ社会に貢献



トラック隊列走行事業

～自動運転や高度安全運転技術を活用し、モビリティ社会の課題解決に貢献～



2

低炭素社会移行に
貢献



リチウム資源開発事業

～次世代自動車に欠かせない車載電池の増産を支えるリチウム資源の確保～



3

循環型社会に
貢献



廃車リサイクル事業

～廃車リサイクルを通して、最適な資源循環の仕組みづくりと廃棄物の削減に貢献～



4

開発途上国と共に
社会課題を解決



テクノパーク事業

～新興国での日系メーカーの海外進出支援を通し、雇用創出/国の発展に貢献～

グローバル行動倫理規範(10ヶ条)

- 1 私たちは、安全衛生活動に全力を傾け、安全で健康的な職場環境をつくります。
- 2 私たちは、反汚職、独占禁止及び国際取引に係る法令を含む全ての適用法令を遵守します。
- 3 私たちは、正確な財務情報を開示します。
- 4 私たちは、全ての社内規程遵守に責任を負います。
- 5 私たちは、誠実、正直、公明正大、公正透明に企業活動を行い、全てのステークホルダーとの信頼関係を維持、発展させます。
- 6 私たちは、持続可能な社会の発展に貢献します。
- 7 私たちは、環境に配慮した企業活動を追求、促進します。
- 8 私たちは、創造と弛まぬ改善により付加価値を提供します。
- 9 私たちは、人権を尊重します。
- 10 私たちは、社内及び社会における多様性を尊重して受け入れ、違いを活かすD&Iに積極的に取り組みます。



職場毎にグローバル行動倫理規範の
読み合わせを実施(Toyota Kenya Ltd.)



グローバル行動倫理規範
～世界中の豊田通商グループの役員・社員一人ひとりがしっかりと理解し実践～



トヨタケニアアカデミー
～人材育成センターを通して、ケニアでの技術者育成に貢献～

目次

I. 豊田通商について

II. 成長戦略

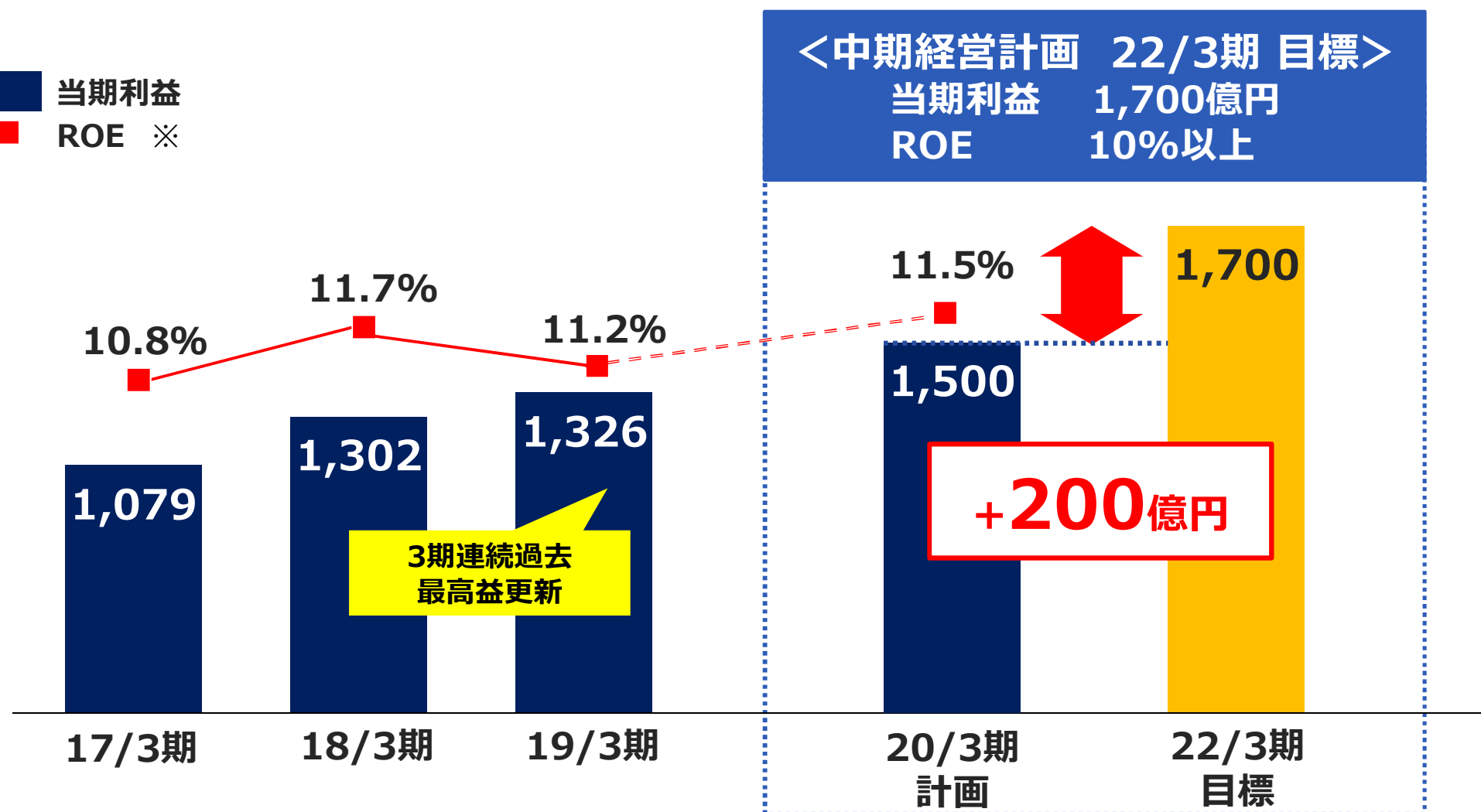
III. 投資銘柄としての3つのポイント

IV. 補足

「現場に立て。明日に役立て。」を具現化した中期経営計画

(単位：億円)

■ 当期利益
■ ROE ※



国際会計基準

※ ROE (自己資本利益率) = 当期利益 ÷ 自己資本

中期経営計画達成に向けて

3つの重点分野へ注力

～『当社の強み』×『今後の伸びが予想される領域』～

1. アフリカ



アフリカでの
No.1プレゼンス



最後のフロンティア
高い成長ポテンシャルを持つ

2. 次世代自動車



日本最大の
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる
自動車産業の転換期

3. 再生可能エネルギー



風力発電業界の
リーディングカンパニー



クリーンエネルギー需要
の高まり

1. アフリカ

3つの重点分野へ注力

～『当社の強み』×『今後の伸びが予想される領域』～

1. アフリカ



アフリカでの
No.1プレゼンス



最後のフロンティア
高い成長ポテンシャルを持つ

2. 次世代自動車



日本最大の
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる
自動車産業の転換期

3. 再生可能エネルギー



風力発電業界の
リーディングカンパニー



クリーンエネルギー需要
の高まり

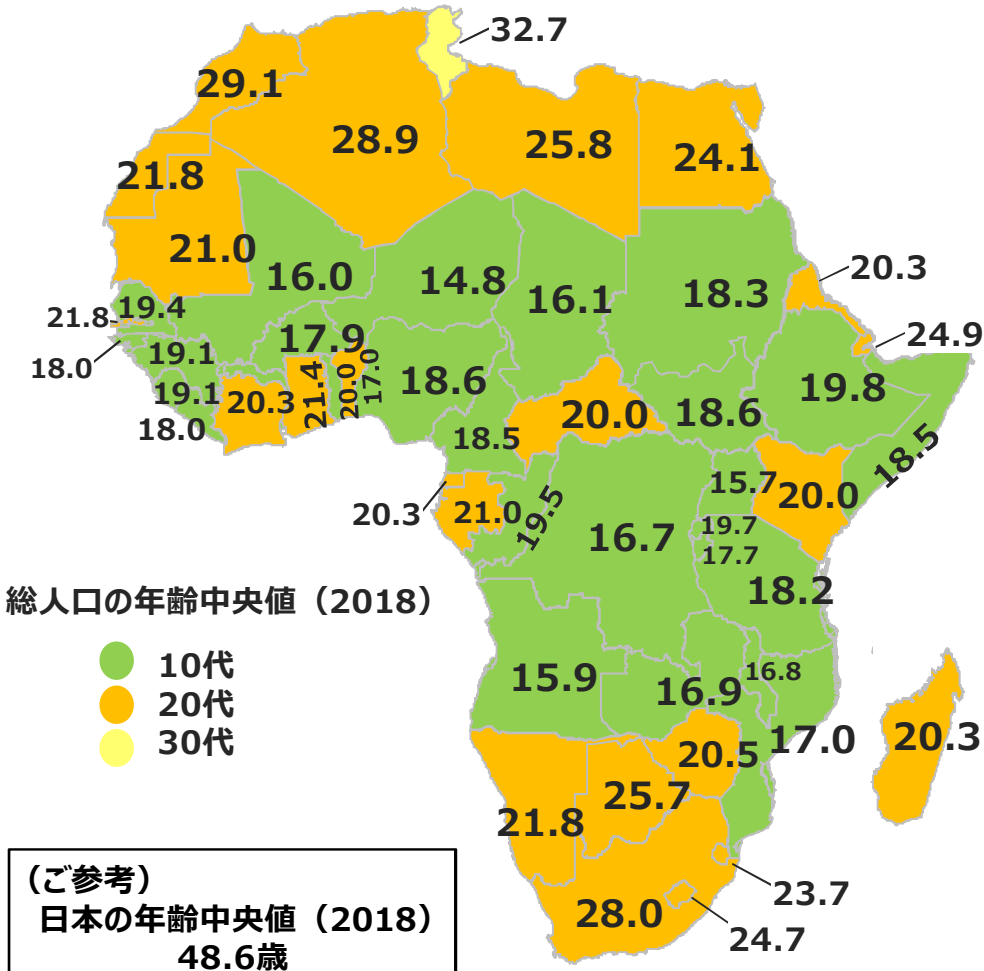
1. アフリカ ～成長可能性～

アフリカ

次世代自動車

再生可能エネルギー

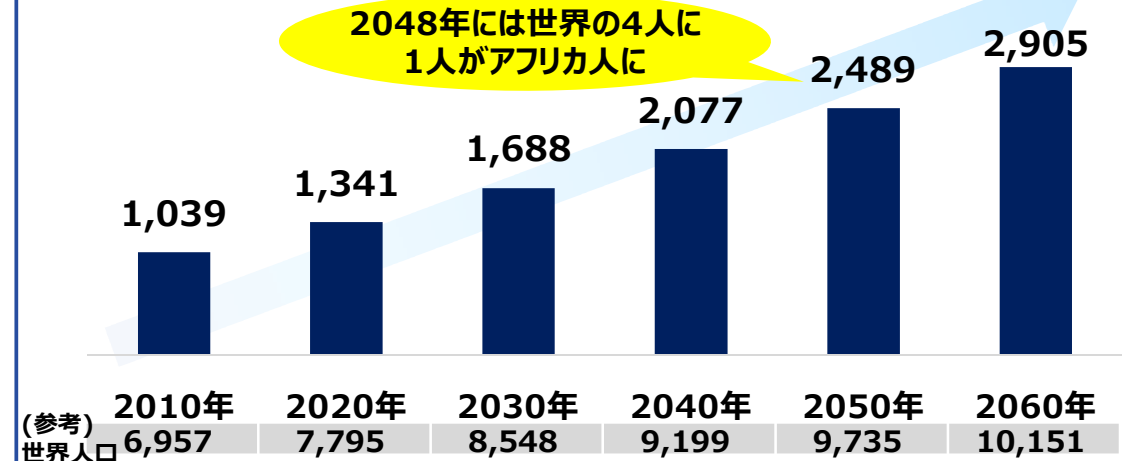
アフリカ各国の年齢中央値



Resource: CIA The world Fact book 2018

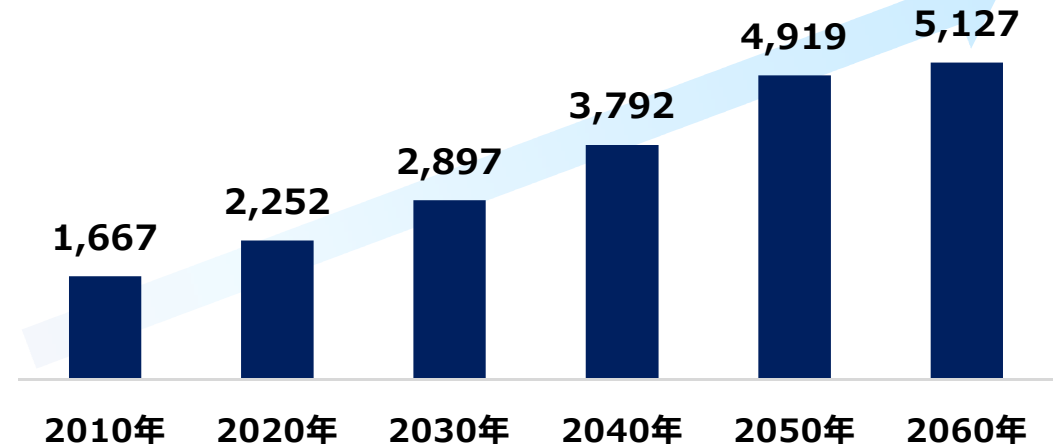
アフリカ人口 (単位: 百万人)

Resource : United Nations "World Population Prospects 2019"



1人当たりGDP (USD/人)

Resource : "Africa 50 years" Time2, African Development Bank, 2011"



年齢も若く、高いGDP成長率が見込まれるなど、アフリカ市場の成長可能性は大きい

1.アフリカ ～自動車ビジネス～

- アフリカ全54カ国でネットワークを保有
- トヨタ車だけでなく、スズキをはじめ50以上のブランドを販売

◆主な取り扱いブランド



- 中古車、部品、アフターサービスまでトータルサービスを提供
- 現地で自動車を生産し乗っていただく「地産地乗」の展開



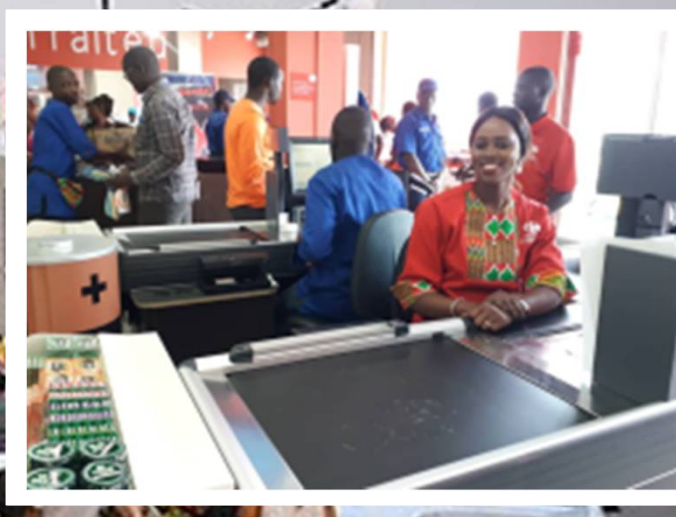
1. アフリカ ～医薬品卸売事業～



医薬品卸売事業

～アフリカ24か国6,000薬局病院に医薬品を毎日配送しアフリカ医療に貢献～

1. アフリカ ～近代的なショッピングモール事業～



ショッピングモール事業

～カルフルと共に近代的スーパーマーケットを運営。現地調達と雇用創出に貢献～



Be the Right ONE

アフリカ

次世代自動車

再生可能エネルギー

1. アフリカ ～自動車ビジネス以外～



- ジェネリック薬品事業
モロッコ製薬会社と提携



- 医薬品製造・卸売事業
-アフリカ24カ国で事業展開※

※ ■の部分が生薬品関連事業



- リテール事業
ショッピングセンターを6店舗展開
-コートジボワール3店舗
-カメルーン1店舗 -セネガル2店舗



- ビール製造・販売事業
(コンゴ・コートジボワール)



- 風力発電IPP事業 (エジプト)
-エジプト初の風力発電事業



- 地熱発電事業 (ケニア)
-アフリカ最大規模の地熱発電



- 港湾開発事業
-ケニア・モンバサ港 -アンゴラ・ナミベ港

「事業の掛け合わせ」→「面の展開」へ

2. 次世代自動車

3つの重点分野へ注力

～『当社の強み』×『今後の伸びが予想される領域』～

1. アフリカ



アフリカでの
No.1プレゼンス



最後のフロンティア
高い成長ポテンシャルを持つ

2. 次世代自動車



日本最大の
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる
自動車産業の転換期

3. 再生可能エネルギー



風力発電業界の
リーディングカンパニー



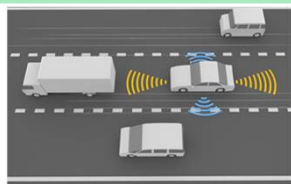
クリーンエネルギー需要
の高まり

2. 次世代自動車

Conconnected
(つながる化)



Autonomous
(自動運転)



Shared & Services
(シェアリング)



Electric
(電動化)



ネクストテクノロジーファンド設立



【金額】60億円/2年

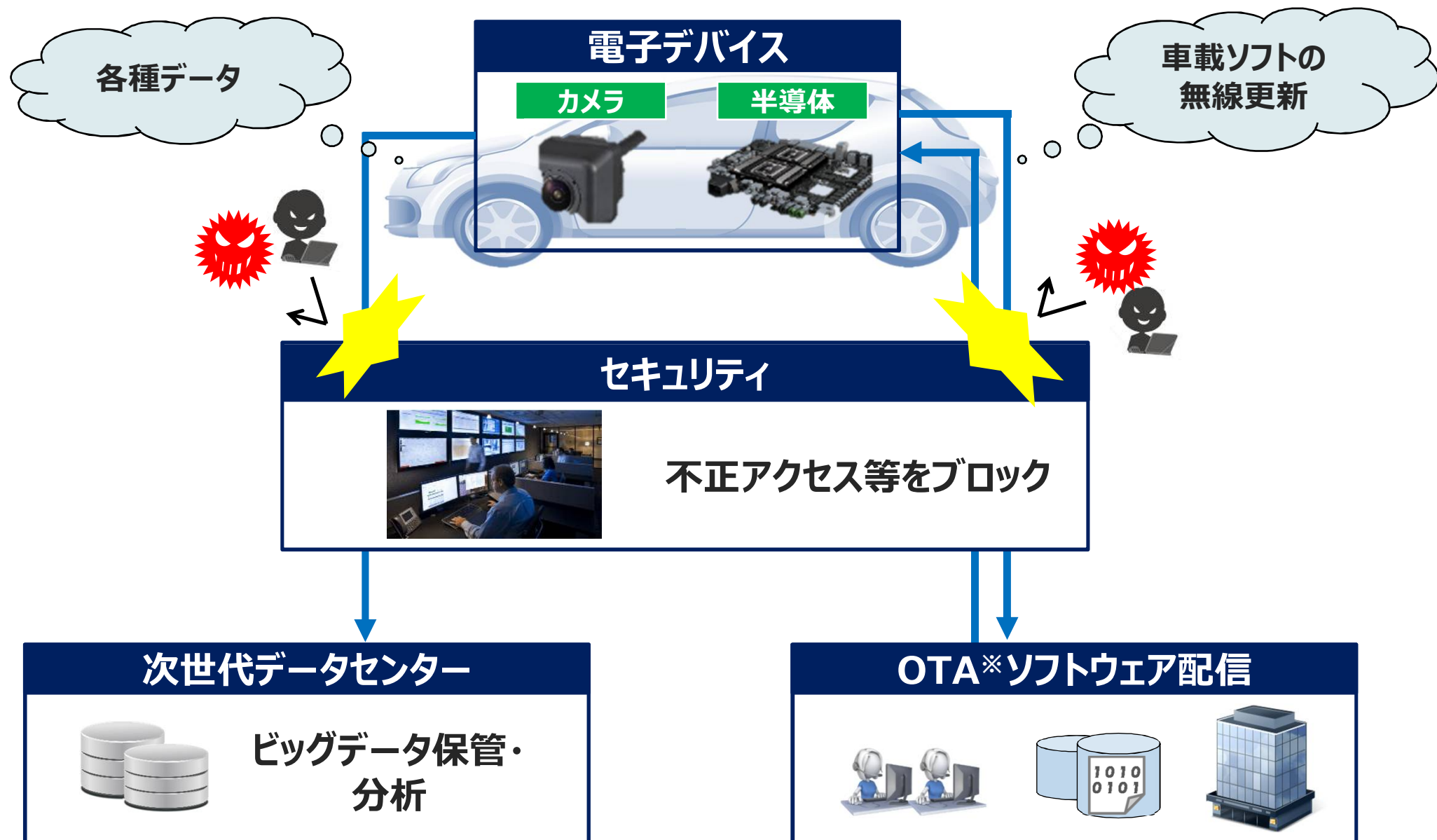
グローバルネットワーク構築



グローバルで260名のネットワークを構築

情報を機敏にキャッチし、新しい技術・サービスの展開に向けた取組みを推進

2. 次世代自動車 ～Connectedの取り組み～



※ OTA…Over The Airの略。無線通信を経由して、ソフトウェアの更新を行うこと

3. 再生可能エネルギー

3つの重点分野へ注力

～『当社の強み』×『今後の伸びが予想される領域』～

1. アフリカ



アフリカでの
No.1プレゼンス



最後のフロンティア
高い成長ポテンシャルを持つ

2. 次世代自動車



日本最大の
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる
自動車産業の転換期

3. 再生可能エネルギー



風力発電業界の
リーディングカンパニー

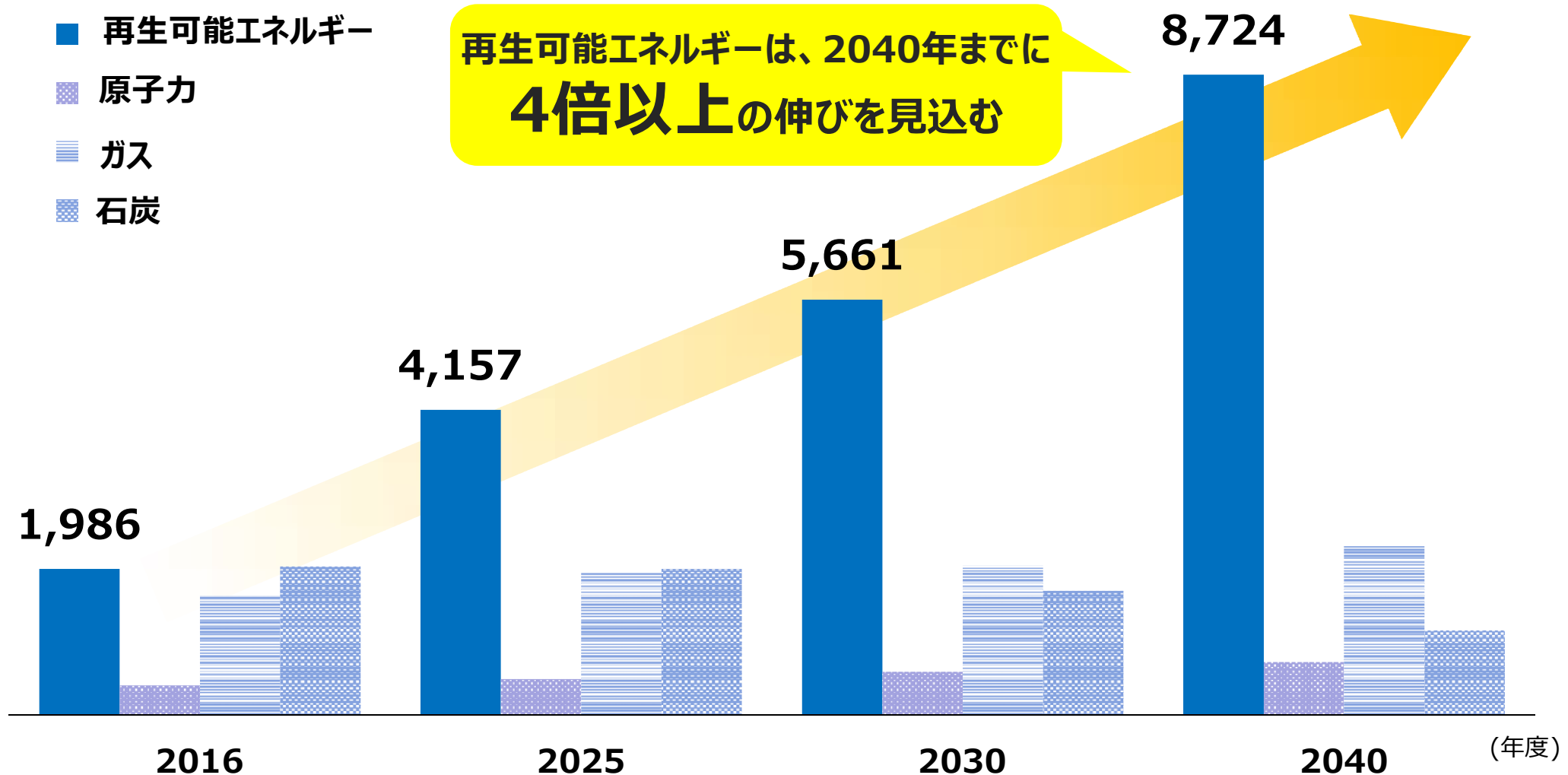


クリーンエネルギー需要
の高まり

～世界の電源別発電設備容量の推移予測～

(単位：千MW)

再生可能エネルギーは、今後も堅調な拡大が見込まれる

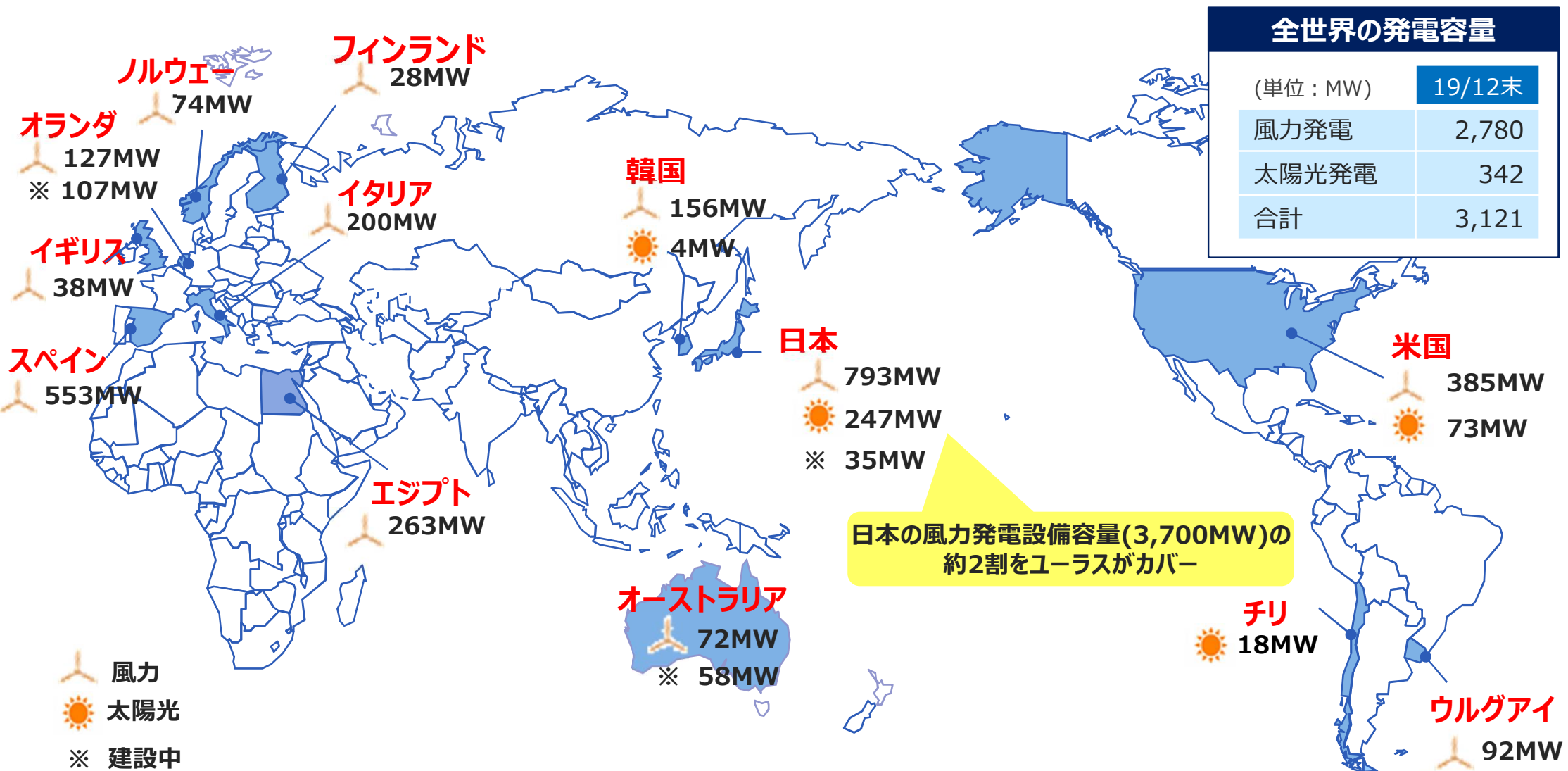


出典：IEA , World Energy Outlook

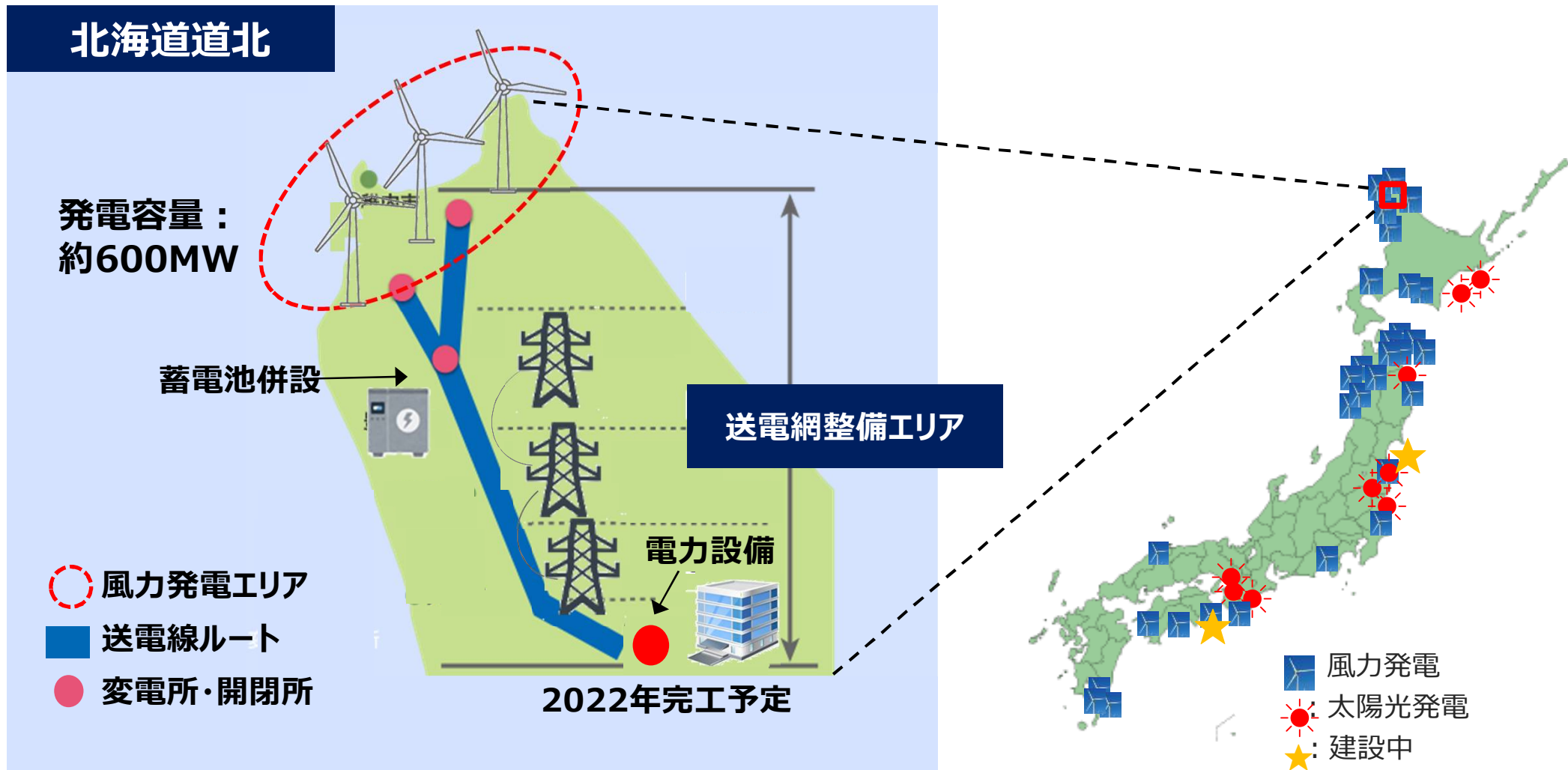
3. 再生可能エネルギー ～発電事業の世界展開～

2019年12月末時点

世界各地で事業を展開し、クリーンエネルギー供給に貢献

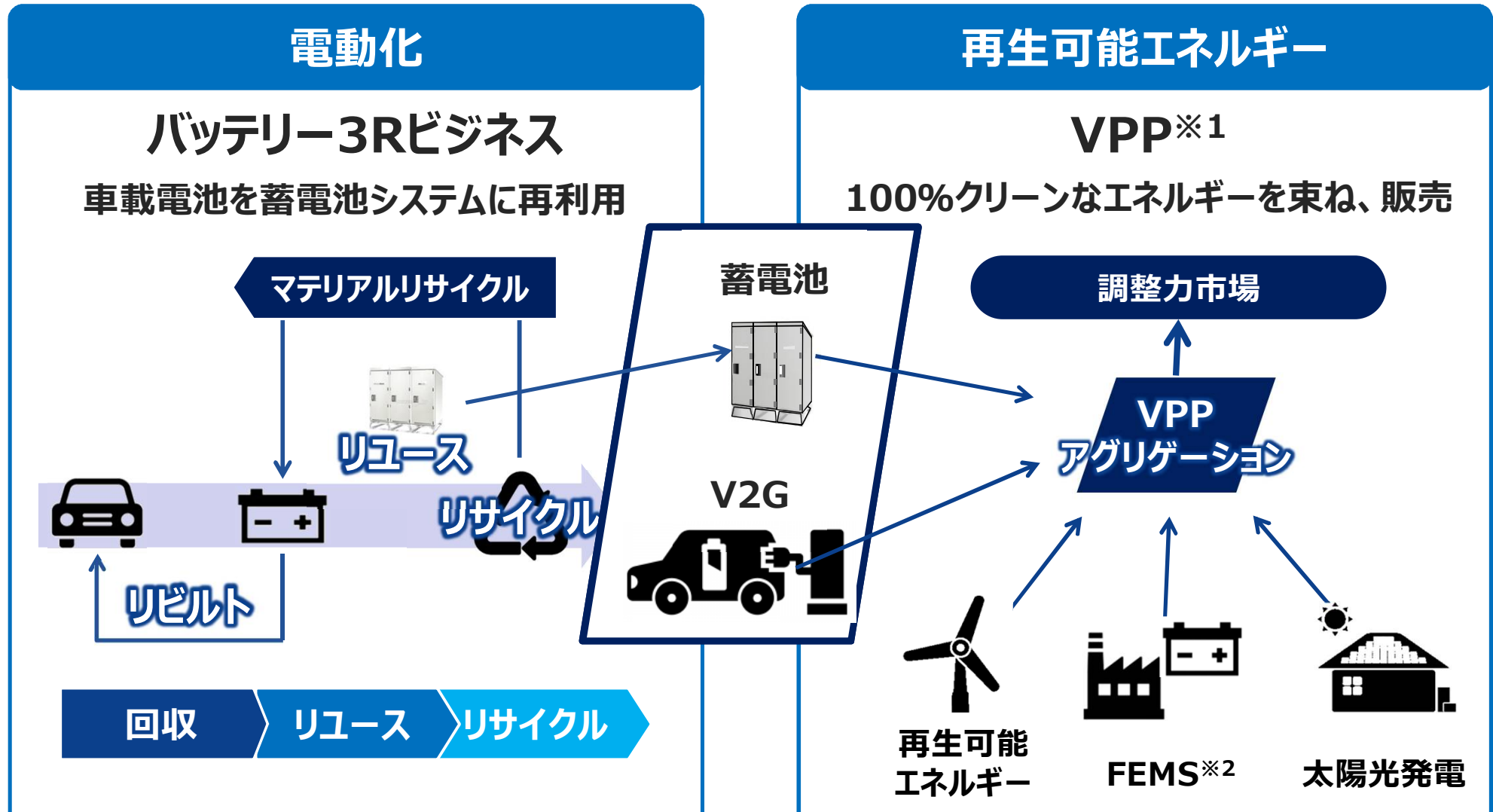


3. 再生可能エネルギー ～蓄電池を利用した発送電事業～



風力・太陽光発電の拡大を図ると共に、新たな事業領域へも挑戦

次世代自動車 × 再生可能エネルギー



※1…VPP…Virtual Power Plantの略。仮想発電所。

※2…FEMS…Factory Energy Management Systemの略。工場エネルギー管理システム。

目次

I. 豊田通商について

II. 成長戦略

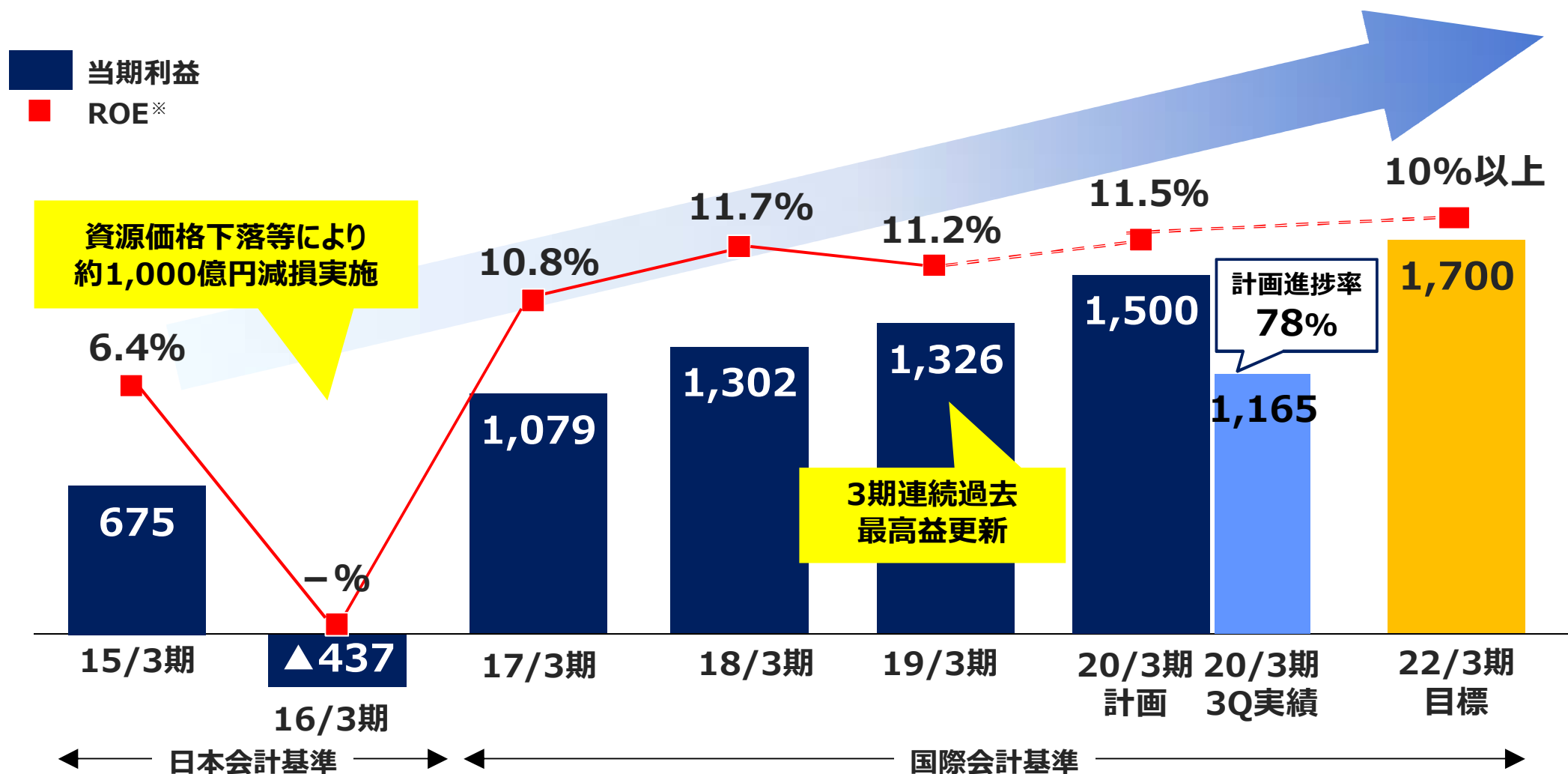
III. 投資銘柄としての3つのポイント

IV. 補足

ポイント①収益の安定性

(単位：億円)

継続的な利益成長を実現、更なる成長を目指す

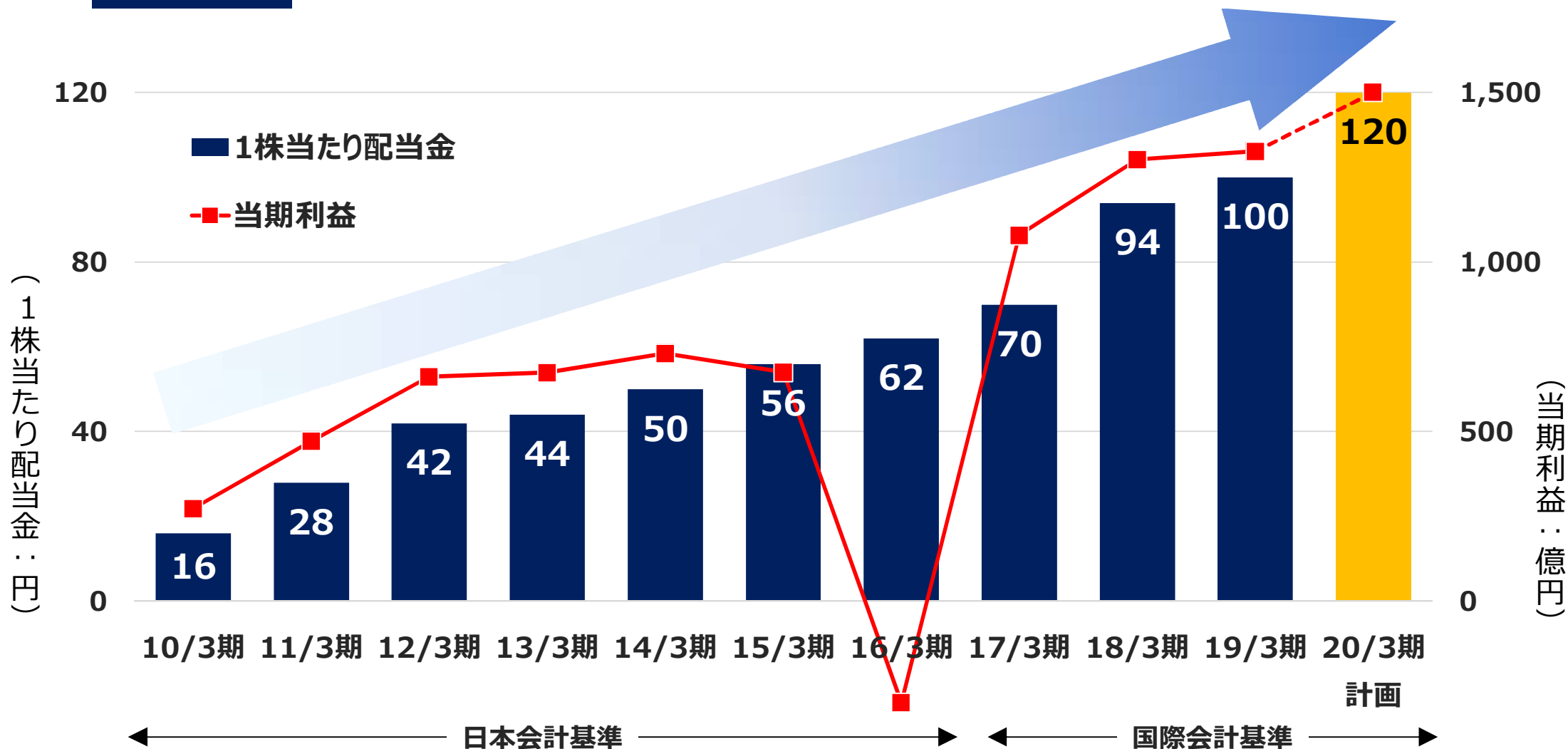


※ ROE (自己資本利益率) = 当期利益 ÷ 自己資本

ポイント② 安定的な増配 ～10期連続の増配を見込む～

株主還元 方針

連結配当性向25%以上を基本方針とし、
安定的な配当の継続並びに1株当たりの配当の増額に努めていく



ポイント③外部機関の評価 ～財務健全性～

2020年2月末時点

健全な財務状況を裏付ける、格付機関からの高い評価

総合商社 業界	EPS ※ 2019年3月末 実績	S&P Global Ratings	MOODY's	R&I
豊田通商	376.9	① A+ (安定的)	② A3 (安定的)	④ A+ (安定的)
A社	372.4	② A (安定的)	① A2 (安定的)	① AA- (安定的)
B社	324.1	② A (安定的)	② A3 (安定的)	① AA- (安定的)
C社	238.3	② A (安定的)	② A3 (安定的)	① AA- (安定的)
D社	256.7	⑤ A- (安定的)	⑤ Baa1 (安定的)	④ A+ (安定的)
E社	130.7	⑥ BBB (ポジティブ)	⑥ Baa2 (安定的)	⑥ A (安定的)
F社	56.3	⑦ BBB- (ポジティブ)	—	⑦ BBB+ (安定的)

※ EPS(1株あたり利益)=当期利益÷発行済株式数

まとめ！ 当社の強み

1 良質・強固な事業基盤

- ✓ トヨタグループの自動車バリューチェーン各所への深い関与による強固な営業基盤
- ✓ 自動車の販売・次世代自動車普及、生産効率・新素材・技術提供の観点よりグループ戦略における主要な1社

2 安定性（収益力・配当額）

- ✓ 自動車関連部門の収益が全体の約6割を占める安定的な収益力
- ✓ 継続的な株主還元

3 健全性（財務健全性・高格付）

- ✓ 健全な財務体質、リスク管理の徹底による格付機関からの高評価
- ✓ 市況に左右される資源リスクは限定的、バランスの良い事業ポートフォリオ

目次

I. 豊田通商について

II. 成長戦略

III. 投資銘柄としての3つのポイント

IV. 補足

本部別概要

(単位：億円)

本部	M	L&C	R&E	事業内容	19年3月期 売上総利益
金属				自動車鋼材、金属製品、 非鉄金属、金属資源	998
グローバル部品・ ロジスティクス				自動車構成部品、 物流事業、タイヤ組付け	753
自動車				自動車等(二輪車、トラック、バス含)の 輸出・小売、販売周辺	887
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト				車両生産設備、エネルギー、プラント、 各種機械	898
化学品・ エレクトロニクス				化学品、合成樹脂、 エレクトロニクス	1,075
食料・生活産業				穀物、食品、保険、 アパレル関連、介護・医療用品	439
アフリカ				自動車、ヘルスケア、消費財・生活産業 テクノロジー＆エネルギー	1,371

合計 6,384

過去10年間の財務サマリー

(単位：億円)

← 日本会計基準 → ← 国際会計基準 →

	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期
売上高/収益※	51,022	57,436	59,167	63,043	77,432	86,634	81,702	57,973	64,910	67,627
当期利益	273	471	662	674	730	675	▲437	1,079	1,302	1,326
総資産	22,745	24,362	28,374	35,923	40,727	45,336	39,521	42,120	43,100	44,414
資本	6,502	6,673	7,517	9,200	11,560	13,044	10,557	12,235	13,621	13,896
ネット有利子負債	5,630	5,813	6,721	9,986	10,889	12,335	11,027	11,019	10,069	9,884
営業CF	1,002	798	637	1,241	1,339	1,691	3,083	1,597	2,150	2,107
ROE	4.9%	8.0%	10.7%	9.6%	8.4%	6.4%	—	10.8%	11.7%	11.2%
ネットDER	0.96倍	0.98倍	1.04倍	1.31倍	1.12倍	1.10倍	1.24倍	1.04倍	0.85倍	0.82倍

※日本会計基準においては売上高、国際会計基準では収益

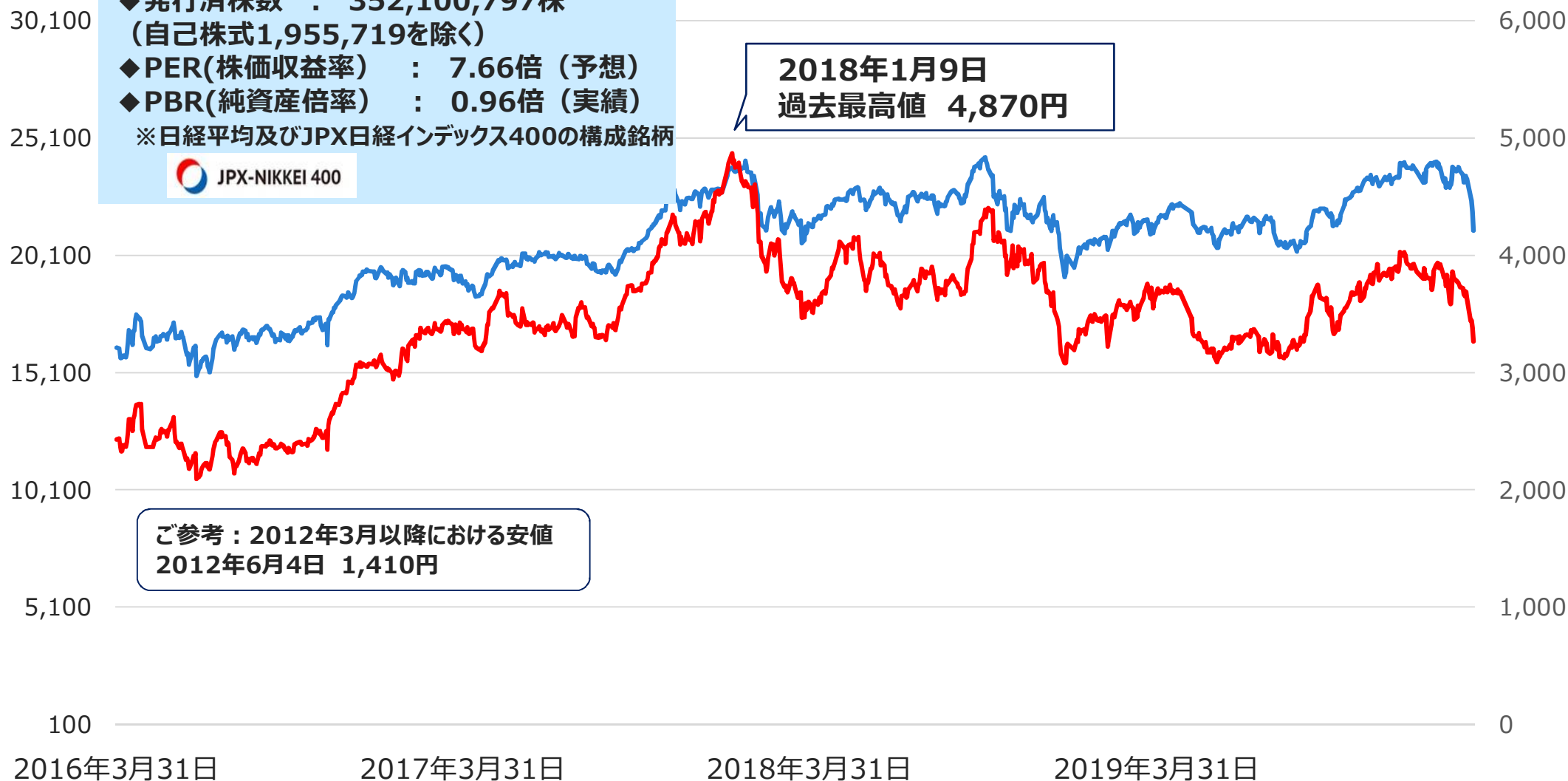
2016年3月末以降の当社株価終値推移

2020年2月末時点

- ◆株価終値 : 3,265円
- ◆発行済株数 : 352,100,797株
(自己株式1,955,719を除く)
- ◆PER(株価収益率) : 7.66倍(予想)
- ◆PBR(純資産倍率) : 0.96倍(実績)
- ※日経平均及びJPX日経インデックス400の構成銘柄



(単位 : 円)



— 日経平均(左軸) — 豊田通商(右軸)

財務方針 ～Cash Flow Managementの推進～ (単位：億円)

過去3年間の実績 (17/3期 ～ 19/3期)

営業CF	投資CF	配当	配当後FCF
+5,856	+527	▲926	+1,355
	▲4,102		

中期経営計画 (20/3期 ～ 22/3期)

営業CF	投資CF	配当	配当後FCF
+6,000～			黒字化継続
	▲4,500～	▲1,300～	

財務健全性

- ネットDER : 1.0倍以内
- RA/RB : 1.0未満

投資方針

- 営業CFの範囲内での投資

配当方針

- 配当性向25%以上を基本方針とする
- 安定的な配当増額に努める

安定した財務基盤を確保するとともに、適切な成長投資と株主還元を行う

当期利益 / ROE / 1株当たり配当金



継続的な利益成長・増配を見込むとともに、資本効率を意識した事業運営を心掛ける

3つの事業領域毎の主な投資額

(単位：億円)

対象期間：20/3期～22/3期の3年間

Mobility

投資額

1,700～

注力分野

自動車販売・サービス
自動車生産・周辺事業
ネクストモビリティ対応



Resources & Environment

投資額

2,100～

注力分野

再生可能エネルギー
金属リサイクル
廃車リサイクル



Life & Community

投資額

700～

注力分野

医薬品
レジデンス
海外インフラ



当社HP紹介

豊田通商HOME / 投資家情報 / 個人投資家の皆様へ

印刷する

投資家情報

› 経営メッセージ

› 個人投資家の皆様へ

- 1. 豊田通商のあゆみ
- 2. 豊田通商のビジネス
- 3. 豊田通商の強み
- 4. 配当方針
- 個人投資家向け説明会

› 説明会資料

› 財務・業績ハイライト（連結）

個人投資家の皆様へ

豊田通商の歴史やビジネス、業績など、個人株主・投資家の皆様に 豊田通商をより深くご理解いただくためのコンテンツを集めました。ぜひお役立てください。



豊田通商

で

検索

当社個人投資家HPへ是非アクセス下さい！



豊田通商株式会社 財務部 I R室
E-mail: ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com
Tel: 03-4306-8201 Fax: 03-4306-8811

- ◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社およびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売出、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。